

「環境基本計画の進行管理」レポート H30 年 9 月

エコネットひがしひろしま

はじめに

2012（平成 24）年に策定された「東広島市環境基本計画」では、その推進体制に「エコネットひがしひろしま」と「市」の連携・協働、加えて、「計画」の進行管理を担う場としての位置づけが明記されています。

計画の期間は 2021 年度とされており、その成果や進捗状況などの評価（Check）を行い、見直し（Action）、その後、新たなステップへの移行（Plan）と実行（Do）へとつながるものです。

エコネットひがしひろしまとしても、会員の進行管理をとおして、健全な提言ができる市民団体への成熟を念頭に、微力ながらレポートを作成しました。

1・進行管理シート等の回収状況

○43 団体・組織のうち 28 団体・組織から進行管理シートを回収（「口頭報告」含む）。

【回収団体一覧】

No	団体・組織名	レポートでの略称
1	賀茂地方森林組合	賀茂森林組合
2	近畿大学工学部	近大工学部
3	光和商事 株式会社	光和商事
4	株式会社 西条庭園	(実績なし)
5	株式会社 サタケ	サタケ
6	生活協同組合ひろしま	生協ひろしま
7	有限会社 ノーム	ノーム
8	広島ガス 株式会社	広島ガス
9	広島県建築士会東広島支部	建築士会
10	広島国際大学	広国大
11	広島大学大学院総合科学研究科	広大総合科学研究科
12	広島大学総合博物館	広大総合博物館
13	株式会社 ヨンナナカンパニー	ヨンナナカンパニー
14	「アクアフェスタ in 福富」実行委員会	アクアフェスタ福富
15	エコ INN くろせ	エコ INN くろせ
16	えこ・ページ	えこ・ページ
17	かつばのおうち	(実績なし)
18	呉・東広島シェアリングネイチャーの会	シェアリングネイチャー会
19	黒瀬川 e-co 隊	黒瀬川 e-co 隊
20	西条・山と水の環境機構	山水機構
21	半尾川再生まちづくり倶楽部	半尾川倶楽部
22	ひがしひろしま環境家族	環境家族
23	広島県央商工会青年部	県央商工会
24	広島大学宇宙科学センター	広大宇宙科学センター
25	ひがしひろしまモバイルミュージアム	モバイルミュージアム
26	(NPO) メセナ SUN-CLUB 学びの森	メセナ学びの森
27	酔える景観永遠の会	景観永遠の会
28	(一社) サステナブル地域づくりセンター	SusCOC
—	エコネットひがしひろしま	エコネット

2・取り組みの項目別の集計

21 世紀半ばの将来像1：「豊かな自然と共生した快適に暮らせるまち」に関する取り組み

取り組みの柱	取り組みの展開	活動の概要
豊かな自然環境の 保全と活用	人とのかかわりが深い 自然環境の保全	○オオサンショウウオの生態調査と教育・普及 活動を通じた保全活動（ 広大総合博物館 ） ：調査 16 回・53 頭確認 ○田植え・稲刈り体験（ エコ INN くらせ ） ：小学生など 34 人参加
	自然とのふれあいの 推進	○自然体験プログラムネイチャーゲームの実施 （ シェアリングネイチャー会 ） ：3 回・120 人参加 ○フィールドナビ（ 広大総合博物館 ） 広島大学キャンパスで植物観察やゲーム ：8 回・約 300 人が参加 ○半尾川の生き物展示・東広島ひとむすびの場 などでブースを開設、来場者に解説 （ モバイルミュージアム・半尾川倶楽部 ） ：5 回・1,470 人が来場
	生物多様性の 保全	○龍王山・憩いの森で山のグラウンドワーク （山の手入れ・除伐・外来植物の除去など） （ 山水機構・賀茂森林組合 ） ：4 回・616 人が参加 ○オオサンショウウオの保全（ 広大総合博物館 ）
緑あふれる美しい 町並みの創出	市街地の緑の保全と 整備・創出	○サンタプロジェクト（サンタの格好をした学 生や市民がブルーバール・半尾川の清掃活動） （ えこ・ページ&半尾川倶楽部 ） ：12 月 23 日・約 60 人が参加
	歴史・文化的資源と 歴史的な町並みの保全・活用	○酒まつりで展示ルーム開設（ 山水機構 ） ：西条酒の背景を展示・上映。試飲・利き水 コーナーも。2 日間で約 150 人が来場。
	潤いある市街地景観の 創出	○西条・白市の景観保全活動をまとめ発表・PR （ 景観永遠の会 ）
水・水辺環境の 保全・向上	健全な水質と水環境の 確保	○憩いの森・水のグラウンドワーク（ 山水機構 ） ：小学生・大学生ら 130 人が参加 ○水質調査（ 山水機構 ） ：龍王山憩いの森一帯の水質・水量の定点 観察調査を実施（5 月と 11 月の 2 回）
	水辺環境の保全と ふれあいの創出	○小学 4 年生の環境学習として水生生物の調査 や水質調査、ゴミ拾いを継続（ 黒瀬川 eco-隊 ） ○用水路見学（ エコ INN くらせ ） ：乃美尾小学校 4 年生 16 人が参加し発表も
良好な大気環境等 の保全	きれいな空気や 静かな環境等の保全	○東広島天文台観望会・セミナーの開催で光害 の解説など（ 広大宇宙科学センター ） ：30 回・2000 人が参加

21 世紀半ばの将来像 2 : 「身近な取り組みから地球環境保全に貢献するまち」に関する取り組み

取り組みの柱	取り組みの展開	活動の概要
資源循環型社会の形成	廃棄物の排出抑制と循環的利用の促進	○組合員によるリサイクル推進 (生協ひろしま) : 商品供給時に発生する容器等を回収し再資源化 (間接的 CO₂ 削減は 5,890 t) ○リユース市 (えこ・ページ) : 卒業生の家具などを安価で新入生に提供 133 点回収し 129 点販売 13 万余円収入 ○みみずコンポスト (光和商事) : 家庭用生ごみ処理容器やみみずコンポストの展示販売を各地で実施
	不法投棄防止対策の推進	○半尾川の清掃活動 (半尾川倶楽部・建築士会) : 川の中のゴミ回収含め 7 回実施 85 人参加 *サンタプロジェクト (前掲) にも参加 ○会社周辺のクリーン活動 (サタケ) : 4 コースで 33 回実施
低炭素社会の形成	温室効果ガスの抑制に向けた総合的な取り組みの推進	○大学と地域でエネルギーを考えるシンポジウム等の開催 (広大総合科学研究科) : 7 月・2 月に開催、約 80 人が参加 ○自転車キャラバン隊行動デー (エコ INN くろせ) : 9 月 24 日 3 コースで「温暖化防止」の幟を立てた自転車で走行。27 人が参加
	新エネルギーの導入	○森林整備と薪利用の促進 (ノーム) : 薪ストーブ導入 4 件 薪の安価提供も 志和町に常設店・イベントへの出展も ○賀茂バイオマスセンターの運営 (賀茂森林組合) ○豊栄くらすにペレットストーブ設置 (サタケ)
	省エネルギーの推進	○省エネ楽生塾<広島県補助事業> (エコネット) : 環境フェア・ひとむすびの場で 2 週間の省エネに取り組む市民を募集・約 50 人が参加 ○省エネトライアル (生協ひろしま) : 7 月~1 月のエネルギー使用量を 89 人報告 ○地産地消の推進 (ヨナナカンパニー) : 広島県産の食材 (肉 0.6 t、野菜 0.9 t) を約 1 万人に提供 (緑提灯の店)
	低炭素社会形成に寄与する事業の促進・支援	○事業活動による CO₂ 排出削減 (生協ひろしま) : 1 %の CO₂ 削減目標掲げ、デマンドコントロール、照明器具の交換、車両買い替え ○もみ殻クン炭・竹炭作り (エコ INN くろせ) : クン炭機の貸し出し含め 207 回、竹炭生産量は 52 kg・0.46 t CO₂ 蓄積
広域的・国際的取り組みの展開	地域を越えた連携と国際的な協力の推進	○もみ殻クン炭チーム活動 (エコ INN くろせ) : 脱温暖化プロジェクトせら・くい環境会議に 4 台のクン炭機拠点整備を実現、稼働中

21 世紀半ばの将来像 3 : 「環境を守り・伝える心と活動を育むまち」に関する取り組み

取り組みの柱	取り組みの展開	活動の概要
環境教育・環境学習の推進	学校・家庭・地域などでの環境教育・環境学習の推進	○環境学習会の開催（生協ひろしま） ：温暖化をテーマに組合員学習会 2 回 70 人 ○本館解説（広大総合博物館） ：人と自然の関わりテーマ 210 団体 3,993 人 ○エコ講演会（エコ INN くらせ） ：講師招へいし 2 回開催 91 人が参加 ○エコストーブ実習・ロハスセミナーの開催 （ひがしひろしま環境家族） ：スタッフ合わせて 39 人が参加 ○西条小の龍王山での総合学習支援（山水機構） ○出前エコクッキング実習（エコ INN くらせ） ：乃美尾小学校（24 人）・黒瀬高校 12 人） ○昔の遊び講座（広国大・エコ INN くらせ） ：学生 50 人に麦わらのホテル籠づくり ○里山の暮らし仕掛け人養成講座 （SusCOC・メセナ学びの森） ：なみ滝藤原園（志和町）を主会場に 5 回シリーズ延べ 95 人が参加 ○小学生のキャンプ実習など（メセナ学びの森） ：年間を通じて随時開催
環境情報の充実	利用しやすい環境情報の整備と発信	○ホームページ（エコネット） ：使いやすいホームページの改良に着手 ○CSR 報告書（広島ガス） ：1 年間の活動を 40 ページの報告書にまとめ。「環境」の視点からの報告も満載
市民事業者等の環境保全活動の促進	環境保全活動への参加促進と取り組みの支援	○環境フェア（近大工学部など出展団体 8） ：近大工学部の「夏休み自由研究相談会」は親子連れでにぎわった 7 月 22 日に中央公園で来場者は 4,000 人 ○第 18 回アクアフエスタ in 福富 （アクアフエスタ in 福富実行委員会） ：「水」をテーマに 9 月 30 日・10 月 1 日道の駅で開催 来場者は 22,000 人 ○ライトダウン in 東広島（広大宇宙科学センター） ：8 月 19 日 20 : 30～21 : 00 のライトダウンを呼びかけ（西条地域の事業所等） 西条小での「星を見る会」に 230 人が参加 ○黒瀬健康福祉祭り（エコ INN くらせ） ：10 月 29 日にブース出展：来場者約 50 人 ○イベント時ゴミステーション運営 （えこ・ページ） ：広島大学の学園祭・浴衣まつり、ひと結びの場などで手づくりゴミ箱設置し分別の啓発

3・重点プロジェクトに関する活動状況のまとめ

前項の活動または団体名をメモ的に下表に再掲します。

重点プロジェクト	取り組み	活動の概要
1 里地里山・田園・ 里海の保全・活用 プロジェクト	川を通じて地域の環境を学ぶ	・半尾川再生まちづくり倶楽部・黒瀬川 e-co 隊・ エコ INN くろせの用水路見学など ・水のグラウンドワーク（山水機構）
	地域の里地里山・田園・里海を支える	・里山の暮らし仕掛人養成講座 ・賀茂バイオマスセンターの運営 ・山のグラウンドワーク(山水機構) ・賀茂プロジェクト(サタケ)
	相互に連携・協力する	特になし
2 資源循環・エネルギー有効利用プロジェクト	みんなで取り組む3つの R	・生協ひろしまの組合員活動 ・リユース市（えこ・ページ） ・光和商事の生ごみ処理容器等の販売
	エネルギーの有効利用	・省エネ楽生塾 ・省エネトライアル ・広島ガスのバイオマスパワー会社の設立 ・ノームの薪ストーブ導入
	目指せ「エコファミリー・エココミュニティ」	特になし
3 意識向上・人材育成 プロジェクト	子供も大人も一緒に学ぶ	・メセナ学びの森 ・総合学習の支援（山水機構）
	環境に配慮した事業者の育成	特になし
	環境リーダーの育成と派遣	特になし

4・考察など

○環境配慮指針に関する活動状況

・地域別環境配慮指針…9つのエリアごとの活動状況のまとめ

西条地域 多数あり	八本松地域 ・広島セブンの森づくり ・山水賞（川上・吉川）	志和地域 ・里山の暮らし仕掛け人養成講座 ・ノーム展示場 ・ホテルまつり
高屋地域 ・造賀を愛する会のアダプト活動 ・米づくり ・	黒瀬地域 ・エコ INN くろせの活動 ・ホテル川の清掃 ・	福富地域 ・アクアフェスタ ・星降るテラス（近大工学部） ・
豊栄地域 ・オオサンショウウオの保全 ・賀茂プロジェクト荒廃地改善 ・	河内地域 ・賀茂バイオマスセンター ・リバーサイドフェスティバル （県央商工会）	安芸津地域 ・木谷じゃがいもウォーキング （SusCOC/近大工学部） ・

エコネット会員が西条地域に集中していることも相まって、全市的な取り組みには至っていない。

○指標による進行管理

エコネットひがしひろしまの活動と関わりの深い評価指標として次の8項目に着目

- ①市民1人1日当たりのごみ排出量
- ②きれいなまちづくりキャンペーンの参加者人数
- ③民生家庭部門の二酸化炭素排出量
- ④エコドライブ・公共交通の利用
- ⑤新エネルギーの導入
- ⑥省エネルギーの推進（冷暖房の適温管理）
- ⑦環境教育・環境学習の推進
- ⑧市民活動情報サイト（環境 eco）の登録団体数

*今回は定量的な把握ができにくいため、今後、これらを意識した活動の数値化を図る。

今後に向けて（ちょっとした提言）

今回のレポート作成をとおして浮き彫りになったいくつかの視点を提言的にまとめました。

■フォアキャスティングからバックキャスティングへ

「東広島市環境基本計画」は、2012 年度から 2021 年度の 10 年間で推進するもので、すでに 7 年目に入りました。「望ましい環境像」が明示されているものの、進行管理はフォアキャスティング的におこなわれているようです。

今後はバックキャスティング的発想で、残された 3 年余りの事業計画を立てることが望まれます。

- バックキャスティング：目標となる状態を想定し、そこを起点に現在を振り返って、今何をすべきを考える方法。
- フォアキャスティング：これまでのデータや実績に基づき、現状で実現可能なことを積み上げ目標に近づける方法。

■エコネットひがしひろしま事業計画の見直し（帰納法的計画から演繹法的計画へ）

エコネットひがしひろしまの事業計画策定は、事務局まかせのマンネリ的な状況が続いています。

数年前に、合宿ミーティングやワークショップを実施し、計画の刷新に向けた議論もおこなわれたものの、全体としては「ゆるやかなネットワーク」組織を是とし、構成団体の事業計画まで立ち入ることなく、帰納法的に行われているのが実情です。

前項の考えとも相まって、いくつかの重点項目を明示し演繹法的に計画づくりに取り組む必要があります。

- 帰納法：複数の事実・事象から導き出される共通の傾向を抽出し、結論を得る思考法。
- 演繹法：普遍的理論などを前提に予想を立て、具体的な事象などを考え出す思考法。

■会員確保の戦略的視点

会員の目減り傾向がみられるなかで、新たな視点からの会員確保・勧誘策を早急に検討するべきと考えます。

会員の少ない（いない）八本松地域・高屋地域・安芸津地域のエコ活動団体などに加入を呼びかけることや、事業者会員の増強も必要です。

また、個人会員のメンテナンスも十分ではないため、例えば寄付型の「賛助会員」制度の創設も視野に入れ、財源の確保に供することも考えてみたいところ。

前提として、「会員のメリット」の明確化があることはいうまでもありません。

■市民団体としてのエンパワーメント（力量形成） 協働の視点が必要

健全な提言と協働ができるパートナーシップを発揮できる市民団体をめざしたエンパワーメント（力量形成）が求められています。

「計画」には本来、住民自治協議会も巻き込んだエコネットひがしひろしまを想定しています。

今後、地域づくり推進課・市民協働センターなどとの連携を強化しつつ、環境先進都市にふさわしい市民団体への道を追及していきたいものです。

（分析＆文責：エコネットひがしひろしま事務局ミーティング）